

八中だより

平成22年4月14日

第1号

市川市立第八中学校

校長 山元 幸恵

4月から校長が替わりました。

前任の丸山校長が市川市教育委員会に異動したのに伴い、山元幸恵（やまもと ゆきえ）が新校長として着任いたしました。3月までは市川市教育委員会の義務教育課に勤務し、学校のサポートに当たっておりましたが、第八中学校の生徒たちとともに学べることになり、大変うれしく思っています。「生徒一人一人が輝く、生徒が主役の学校」づくりを目指し、職員とともに一生懸命に努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

お子様の進級・入学おめでとうございます

4月7日（水）、転入職員歓迎の会と始業式を行いました。1年生は2年生に、2年生は3年生にそれぞれ進級し、素敵な校歌の合唱を転入職員に披露してくれました。9日（金）には多くの来賓にご臨席を賜る中、入学式を行い、175名の新入生を迎えることができました。この結果、平成22年度の第八中学校は、生徒総数506名、職員43名でスタートすることになりました。



八中が進める教育活動について

本校では、保護者や地域の皆様と手を携えて、子どもたちの知・徳・体のバランスの取れた健全な成長を目指しており、学校教育目標「自主・協力・継続」の下、特に次の三つの力を生徒たちに身に付けさせたいと考えています。

一つ目は「確かな学力」（受験のためというような狭義のものではなく、自立して生きていくために、また、生涯学習の基礎とし必要な力）、二つ目は「豊かな社会性」（人と関わりながら自分を生かす力）、三つ目は「強い精神力と体力」（あきらめず、困難に立ち向かう力）です。

そのために、平成22年度、第八中学校では次のような取組を推進します。

「確かな学力」

○授業改善に取り組み、「わかる授業」「生徒一人一人の良さを引き出し生かす授業」を実践できるように努める。

○個に応じたきめ細かな指導を実現するため、以下の取組を行う。

- ・2年生の数学においては、学級を分けて少人数学習を実施する。
- ・全学年の英語において、週1時間は少人数担当補助教諭（杉谷幸恵）、もう1時間はALT（英語補助指導者 David Sher）が加わってのティーム・ティーチングを実施する。
- ・新教育課程への移行に備え、2年生英語を週4時間にする。

「豊かな社会性」

- 規律と節度を重んじた学校生活により、一人ひとりの生徒の自己指導力（様々な場面で、何が一番適切な行動か自分で決めて実行できる力）を育成する。
- 八中の特色である体験学習の充実を図り、広く社会に目を向かせるとともに、勤労の大切さや思いやりの心を育む。
- 挨拶運動を推進し、「挨拶」と「美しい言葉」で豊かな人間関係を築ける生徒を育成する。
- 小集団活動を通じて、自分の役割を自覚し、自分の責任を果たせる生徒を育成する。

「強い精神力・体力」

- 学校行事や各種活動において生徒が主役となるよう創意工夫し、「我慢することの大切さ」や「やり遂げた時の達成感」を生徒自身に実感させ、あきらめない強い精神力を育成する。
- 八中ヘルシープランにより、自らの健康を管理し、体力の向上を図れる生徒を育成する。

これまでも、たくさんの保護者や地域の皆様のご協力をいただいております。教育は、教師と生徒と保護者相互の信頼関係の上に成り立つものと考えます。

職員一同、生徒の教育に全力ですが、今後とも、学校へのご理解とご協力をお願い申し上げます。